

大子広域公園オートキャンプ場 「グリーンヴィラ」で 自分時間を楽しもう!

5つ星の人気キャンプ場、美しい「グリーンヴィラ」で
女子ソロキャンパーたちが大集合!!

勇壮な山々あり、爽快な水辺の景色あり、豊かな大自然に包まれた大子町は
キャンプ愛好家やサイクリストたちが全国から集うアウトドアフィールドとして
も人気のエリア。「大子広域公園オートキャンプ場 グリーンヴィラ」は、その恵ま
れた環境を最大限にいかした高規格のキャンプ場です。プールや温泉、スポーツ
施設などを備えた広大な公園の一画にテントサイトやオートキャンプサイトが整
備され、清潔感があり手入れが行き届いた施設や充実のサービスはビギナーやベ
テランキャンパーからも大好評。『交流』をテーマにさまざまなキャンփイベント
が企画され、3月には女子限定の「NATURE BASE DAIGO camp girl」はじめ
ての女子ソロキャンプ in 大子町が開催されました。女子ならではのキャンプ
の楽しみ方を教わりながら、ここグリーンヴィラならではの人気の秘密に迫ります。



動画で見てみよう
みんなの笑顔が素敵でした!

はじめての女子ソロキャンへ!!
自分時間を楽しむ贅沢体験。

今回の企画は参加者を女性に限定し、まだ寒さの厳しい時期に開催されたもの。まずはその狙いを、仕掛け人である大子町の北村さんに伺いました。

「自然豊かな大子町でキャンプを楽しむ体験を通じて、まちの魅力をより多くの方に知ってほしいというのがいちばんの目的です。じつは昨年も、極寒の大子を体験しようというコンセプトのもと、あえて真冬にソロキャンプイベントを開催しました。20名の参加者のうち7名が女性で、「また来たい」ととても好評だったので今回はさらに一步踏み込んで女性限定の企画にしました」と北村さん。SNSなどで告知をすると、40サイトの定員枠はたちまち満員御礼になつたそうです。

会場となるグリーンヴィラでは、キャンプ用具を持っていない人も「お試し」で本格的なキャンプが楽しめるようになるとテントやシユラフはもちろん、調理器具やクーラーボックスなどキャンプに必要なアイテムのレンタルをおこなっています。今回のイベントでも初心者大歓迎で参加者を募集しましたが、実際にレンタルを利用した方は少なく、皆さんなかなかの



ベテランの様子。なかには、テントを9張持つて、季節や天候にあわせて使い分けているというキャンプ大好き女子も参加していました。

「大子町を知ってもらうことがイベン

トのテーマなので、奥久慈しゃもを始めお米の麺、りんごなど地元の食材セットをご用意しました」と北村さん。日本酒やチョコレート饅頭なども入った豪華な内容で、女性スタッフが張り切ってパッキングしたという見た目も乙女ゴコロをくすぐる可愛さです。

多彩なアクティビティで きゅっと詰まった 大子の魅力とソロキャンを満喫

大子町の味覚を堪能できるだけなく、豊かな自然をいかしたアクティビティ体験もセットで楽しめるのが今回の女子ソロキャンの大きな魅力です。1日の午後には、大子町のカフェや景勝地をめぐるサイクリング、前回の特集でも

ご紹介したやみぞホテルのバーレルサウナ、ほうじ茶とコーヒーの焙煎体験やバーニング（ナイフを使った薪割り）の方法を体験したり、お好みのアクティビティを楽しみました。

サイクリングとバーレルサウナの参加者は、大子町が運営するAー乗合タクシーに乗って、それぞれ道の駅だいごとやみぞホテルへ移動。このタクシー、なんと1回300円で利用することができ、まちの皆さん的生活の足としても、観光での利用にもお得なサービスです。

一方、焙煎体験やクラフト体験はグリーンヴィラ内で和気あいあいと開催されました。「ほうじ茶の焙煎ははじめて」と、皆さん興味津々の様子でスタッフからレクチャーを受けながら焚き火台で焙煎にチャレンジ。使用するお茶はもちろん大子産で、コーヒー豆も地元の人気カフェのものと、まさに大子づくりのアクティビティ体験です。

大子産食材をつかったキャンプ飯を味わったあとは澄んだ空気のなかで満天の星空観賞会を楽しみ、翌朝には高台からの眺望を満喫しながら爽快な朝ヨガを。盛りだくさんのコンテンツに参加者の皆さんは大満足の笑顔で、「はじめてのソロキャンだったけどイベントグループだったので安心でき、ソロの楽しがわかった気がします」「キャンプ好きの方と新しいつながりができました」と日々に感想を聞かせてくださいました。

大子町役場まちづくり課
タウンプロモーションチーム
係長 北村 英之さん



やみぞホテルのバーレルサウナ、ソロキャンプで出会った新しい仲間。と旅の疲れを癒しながら交流を深めます。

ほうじ茶とコーヒーの焙煎体験・フェースティックをつくるキャンプ
クラフト体験など、様々なアクティビティを楽しむ参加者たち

大子広域公園オートキャンプ場 グリンヴィラ



2002年にオープンしたグリンヴィラは、北関東唯一の五つ星キャンプ場です。これは日本オートキャンプ協会(JAC)による認定制度で、「立地」「施設」「サービス」「アメニティー(快適性)」などを評価し、総合評価を最高5つ星で表したもの。初心者でも安心して楽しめるキャンプ場選びの指標となり、キレイ・快適・安心が揃ったハイスペックさはキャンプ女子にとっても嬉しいポイントです。気になる施設の全容を、支配人の伊藤さんにご案内いただきます。

(ファミリーキャビン) 無印良品キャビン (グループキャビン)

温泉 (露天風呂)

大子広域公園オートキャンプ場 グリンヴィラ
支配人 伊藤 久さん



フォレスパ大子

四季を通して遊べる温水プール。オールシーズン楽しめるバーデハウスには温水プール、バーデプール、サウナがあります。夏は野外で波の出るプールや滝スライダーにチャレンジ!

高規格のキャンプ場で リゾートのような「非日常」を 清潔感あふれる

グリンヴィラの開業準備から携わり、副支配人を経て支配人に就任した伊藤さんはまさに生き字引。「第二次キャンプームも下火となった頃にオープンし、赤字施設になる、冬季はクローズするしかない、などと囁かれましたが、おかげさまでオープン以来年間平均3万組を超える皆さまにお越しいただいています」と、22年の歩みを振り返ります。

ひと昔前は、キャンプといえば家族連れやグループで楽しむレジャーというイメージでしたが、近年は“おひとり様”で楽しむソロキャンパー、カップルや夫婦で楽しむデュオキャンパーが増えていること。「女性キャンパーも増え、ファッショントentなどアイテムも華やかになりました。オープン当初の写真を見るとテントのデザインも様変わりしていく、時代の変化を感じますね」と伊藤さん。22年の歩みのなかには、東日本大震災やコロナ禍など大変な状況もありましたが、災害時のサバイバル手段としてキャンプのテクニックが見直されたり、ひとりや少人数で楽しめるアウトドアと



「春のキャンプ大会」各季節のイベント、「おやじキャンプ」など、キャンプ仲間の輪が広がっていく様々なイベントを企画し開催しています。

して多様化した側面もあるそうです。
利用者の8割は関東圏など県外からの来場者で、県内ではつくばなど県南エリアからの来場者が目立ちます。各地からここを目当てに訪れてくる利用者に気持ちよく過ごして欲しいとの思いから、伊藤さんははじめスタッフの皆さんは笑顔のサービスはもちろん、施設や環境の管理にも余念がありません。日本庭園の露天風呂を備えた温泉施設をはじめ、お湯の出る炊事場やシャワートイレ、コインランドリーも完備された高規格のキャンプ場がより輝くのは、行き届いた手入があるから。「清潔感にはとくに気を配り、水場を中心こまめな清掃を心がけています」との言葉通り、フロント係など9名の常勤スタッフのほか、清掃や夜間警備の専門スタッフ、繁忙期にはサポートスタッフも加わり、清潔で安心、快適な時間を届けてくれます。

さらに、年月を重ねた施設の改修も進め、2021年よりキャビン棟を順次リニューアル。無印良品で知られる「良品計画」監修のもと、インテリアやファブリック類を一新し、木のぬくもりと別荘のような特別感が漂う空間になります。また、小さなお子様にも大人気のトレーラーハウスの内装は、もと大工職人のスタッフが無垢材をつかってDIYでリニューアルしたそうです。

して多様化した側面もあるそうです。

